

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」



西合志第一小学校
学校だより 第67号
文責 校長 西村羊治

HPQRコード 令和7年1月29日

集中力

「集中力」とは、「一つに意識を集中させ、その課題に専念する能力」であり、仕事や勉強、スポーツなど、あらゆる分野で重要な要素となります。と定義されています。集中せずに時間をだらだら使い物事に取り組むと本当に時間の無駄遣いになります。睡眠不足や体調不良でその様な状況になることもありますが、ただの怠けでそうなってしまうのは、本当にもったいないです。私も怠けで集中しないこともあったし、心の病気で全く集中できないこともありました。しかし、本当に集中すると1時間かかっていたことが、30分で完了し、さらによいものができることがあります。その様なことを思うと集中力の大切さがよくわかります。



集中する1・2年生



授業に集中する子ども

けではなく、すべての学年で見られることです。校長としてとても嬉しく思います。集中する力を身に付けた子どもは、いろいろなことをどんどん吸収していくと思います。集中力は、子ども達の「命」を守ることや「成長」にもつながることだと思います。

ことばの教育

1月25日、今年も「合志市『ことのは』作品コンクール表彰式がありました。合志市の小中学生が、たくさん参加する行事です。合志市内のすべての学校から970点もの作品が出品され、一行詩、ポエム、短歌、作文の各分野で表彰がありました。西合志第一小学校からも、2人のお友達が表彰を受けることができました。一行詩と作文です。2人とも学校のことや友だちのこと、人との関わりを題材としたものでした。本校でもお世話になっている、元アナウンサーの岩元克雄さんの講評でも人々の心や環境のことの話がありました。クラスや学校、日本や世界の人々の現実を知り、考えていくことはとても大切なことだと思います。西合志第一小学校のすべての子どもには、そのやさしさがあります。



わく友に集中する子ども



音読に集中する子ども



表彰を受けた2人